

# 2次元バーコードリーダー 完全版日本語マニュアル



Ver1.0

※型番/FW によって対応していない設定項目もございます。

## 目次

1.初期化と FW バージョンの確認 .....	5
1-1.初期化.....	5
1-2.FW バージョンの確認.....	5
2.インターフェースの設定.....	6
3.USB インターフェースの設定 .....	7
3-1.制御キャラクタの出力形式の置換 .....	7
3-2.改行コードの定義と設定 .....	8
3-3.送信速度 .....	9
3-4.大文字、小文字変換 .....	10
3-5.キーボード言語設定 .....	11
3-6. Alt キー+数字テンキー送信方式 .....	12
3-7.端末 OS の指定 (Alt キー+数字テンキー送信方式) .....	13
3-8.バーコードのエンコード識別設定 .....	14
3-9.出力ソフトのエンコード設定.....	15
4.RS232C の設定 .....	17
4-1.BandRate .....	17
4-2.ParityBit、DataBit、StopBit.....	18
5.GS (Group Separators) の置き換え .....	21
6.制御キャラクタの出力.....	23
7. スキャン (照射) モード.....	24
7-1.スキャンモードの設定.....	24
7-2.同一コードの読み取り遅延 .....	25
7-3.ピックアップ(Picklist)モード .....	26
8. LED の表示 .....	27
9. ビープ音 .....	28
9-1.音量の調整.....	28
9-2.電源音 .....	28
9-3.読取り音 .....	29
9-4.読取り音の音調.....	29
10. 文字編集 .....	30
10-1.スタートキャラクタ .....	30
10-2.ストップキャラクタ (改行コード) .....	30
10-3.先頭キャラクタの付加.....	32
10-4.末尾キャラクタの付加.....	39
11.CODE ID.....	46
12. AIM ID.....	53
13.データ構成の順番設定.....	54
13-1.先頭キャラクタ.....	54
13-2.末尾キャラクタ.....	54
14.データの送信桁数を設定.....	55

15.色反転コード .....	59
16.破損コードの読取り補助 .....	60
17.読取り可能なバーコード種類の設定 .....	61
18. Codabar .....	63
19. Code39 .....	67
20. Code32 .....	72
21.Interleaved 2 of 5 (ITF25) .....	73
21-1.ITF25 桁数の設定 .....	74
22.Industrial 2of5 .....	79
23.Matrix 2of5 (4-24 桁) .....	83
24. Code93 .....	87
25.Code11 .....	91
26.128 コード .....	96
26-1.Code128 の読取り .....	96
26-2.GS1-128 の読取り .....	96
26-3. ISBT の読取り .....	97
26-4.128 コード桁数の設定 .....	98
27.UPC-A .....	101
27-1.UPC-A チェックディジット .....	101
27-2.UPC-A 変換 .....	102
28.UPC-E .....	103
28-1.UPC-E チェックディジット .....	103
28-2.UPC-E→UPC-A 変換 .....	104
28-3.UPC-E の先頭キャラクタ設定 .....	104
29.EAN/JAN8 .....	105
29-1.EAN-8→EAN-13 変換 .....	105
29-2.EAN-8 のチェックディジット .....	106
30.EAN/JAN13 .....	107
30-1.EAN/JAN13 のチェックディジット .....	107
30-2.UPC/EAN/JAN 補助桁 (アドオンコード) .....	108
30-3.EAN13→ISBN 変換 .....	109
30-4.EAN13→ISSN 変換 .....	109
31.GS1 Databar (RSS14) .....	110
31-1.GS1 Databar Limited .....	110
31-2.GS1 Databar Expanded .....	111
32.PDF417 .....	112
33.Micro PDF417 .....	112
34.QR Code .....	113
35.QR Code URL Link .....	113
36.Micro QR Code .....	114
37.Data Matrix .....	114

38. Aztec Code.....	115
39. 汉信码.....	115

## 1.初期化と FW バージョンの確認

### 1-1.初期化

バーコードリーダーの設定を工場出荷時のものにします。



初期化設定

### 1-2.FW バージョンの確認

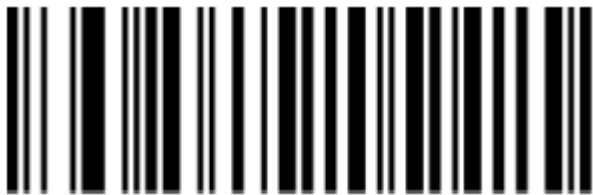
メモ帳や Excel などを開いて読取りを行います。



FW バージョンの確認

## 2. インターフェースの設定

バーコードリーダーでご利用になられるインターフェースに設定することができます。



USB ※デフォルト



RS232



VirtualCOM

### 3.USB インターフェースの設定

#### 3-1.制御キャラクターの出力形式の置換

制御キャラクターの ASCII シンボルを制御文字に置換して実行されます。

出力形式の置換 1 の設定コードをスキャンした場合は 例：TAB は Ctrl+I として実行されます。

出力形式の置換 2 の設定コードをスキャンした場合は Enter 以外の制御キャラクターの ASCII シンボルが制御文字に置換されます。

制御キャラクター一覧表にてご確認ください。



出力形式の置換 1



出力形式の置換 2



出力形式の置換なし

※デフォルト

### 3-2.改行コードの定義と設定

本スキャナの初期設定の状態において、改行コード定義を説明する：

- ① 読み取られるコードに「0A」が含まれる場合は、改行として出力できません。
- ② 読み取られるコードに「0D」が含まれる場合は、改行一つのみ出力します。
- ③ 読み取られるコードに「0A0D」が含まれる場合は、改行一つのみ出力します。



OA (LF) が含まれる場合のみ、  
改行として出力できます



OD (CR) が含まれる場合のみ、  
改行として出力できます  
※デフォルト



OA (LF) と OD(CR)が含まれる場  
合は  
改行 2 回として出力できます



### 3-3.送信速度

データを受け取る端末の性能に合わせて送信速度を設定して下さい。

端末性能が低い場合は、送信速度（低）に推奨します。



送信速度-低  
※デフォルト



送信速度-中



送信速度-高



任意設定（2ms～50ms）

例：送信速度を 5ms に設定する場合

任意設定コード→数字コード 5→保存

数字コードは PXX

### 3-4.大文字、小文字変換



変換なし※デフォルト



大文字→小文字変換  
小文字→大文字変換

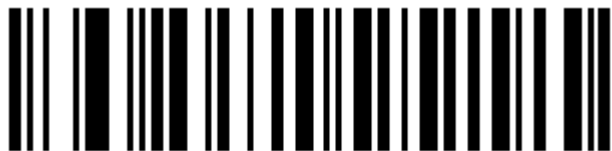


全部大文字に変換



全部小文字に変換

### 3-5. キーボード言語設定



English ※デフォルト



日本語

### 3-6. Alt キー+数字テンキー送信方式

デフォルト/モード1：0x20～0xFF（16進数）Pxxのキャラクタはキーボードの配列と同じ通常形式で出力されます。

0x00～0x1F（16進数）Pxxの制御キャラクタは実行されます。

モード2：0x20～0xFF（16進数）PxxのキャラクタはAltキー+数字テンキーの組合で出力されます。

0x00～0x1F（16進数）Pxxの制御キャラクタは実行されます。

モード3：0x00～0xFF（16進数）PxxのキャラクタはAltキー+数字テンキーの組合で出力されます。



通常モード ※デフォルト



モード1



モード2



モード3

3-7. 端末 OS の指定 (Alt キー+数字テンキー送信方式)



WINDOWS ※デフォルト



MAC OS



LINUX

### 3-8.バーコードのエンコード識別設定

通常では、バーコードのエンコードを自動識別できますが、特殊エンコードの場合は、手動でエンコードに合わせて設定して下さい。



自動識別 ※デフォルト



KOI8-R



日本語 Shift-JIS



中国語繁体字 big5

### 3-9.出力ソフトのエンコード設定

出力先のソフトのエンコードに合わせて設定して下さい。

例：メモ帳/Excel 等に中国語簡体字を出力する場合は GBK エンコードに設定して下さい。

Word 等に文字出力する場合は UNICODE エンコードに設定して下さい。

英語/latin-1 エンコードに設定した場合は、Alt キー+数字テンキー送信方式の設定状態をご確認下さい。

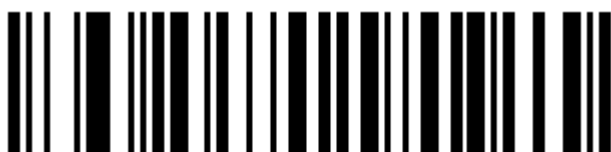
GBK エンコード/UNICODE エンコードに設定した場合は、Alt キー+数字テンキーの送信方法に強制切り替えます。



英語/Latin-1 ※デフォルト



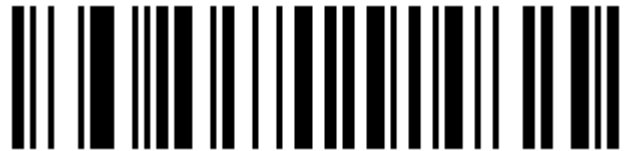
GBK (メモ帳/Excel 等)



Unicode (Word 等)



日本語 Shift-JIS (メモ帳/Excel 等)



UTF-8



中国語繁體字 big5 (メモ帳/Excel 等)



## 4.RS232C の設定

### 4-1.BandRate

RS232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。



4800



9600 ※デフォルト



19200



38400



57600



115200

#### 4-2.ParityBit、 DataBit、 StopBit

RS232 制御の際に指定がある場合にご利用下さい。



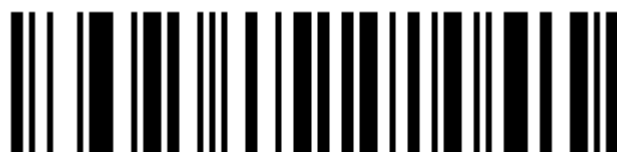
Data 7bit,Stop one bit,Parity None bit



Data 7bit,Stop one bit,Parity even bit



Data 7bit,Stop one bit,Parity odd bit



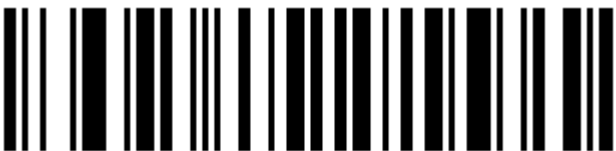
Data 7bit,Stop two bit,Parity None bit



Data 7bit,Stop two bit,Parity even bit



Data 7bit,Stop two bit,Parity odd bit



Data 8bit,Stop one bit,Parity None bit ※デフォルト



Data 8bit,Stop one bit,Parity even bit



Data 8bit, Stop one bit, Parity odd bit



Data 8bit, Stop two bit, Parity None bit



Data 8bit, Stop two bit, Parity even bit



Data 8bit, Stop two bit, Parity odd bit

## 5.GS (Group Separators) の置き換え



置き換えなし ※デフォルト



Ç に置き換え

注意：Alt キー+数字テンキー送信方式（モード 1/2/3）に設定する必要があります。



| に置き換え



^] に置き換え



]に置き換え



<GS>に置き換え

## 6.制御キャラクターの出力



出力しない



出力する ※デフォルト

## 7. スキャン（照射）モード

### 7-1. スキャンモードの設定



トリガーモード ※デフォルト



自動照射 AT モード



## 7-2.同一コードの読み取り遅延

自動照射 AT モードの際に同一コードを連続して読み取る際に設定した時間、読み取りを無効にします。



500ms



750ms ※デフォルト



1s



2s

### 7-3.ピックリスト(Picklist)モード

複数バーコードを読み取る時に、赤の照準ラインの下にあるコードだけ読み取るようにする。



有効



無効 ※デフォルト

## 8. LED の表示



読取り成功後に LED 表示 OFF



読取り成功後に LED 表示 ON  
※デフォルト

## 9. ビープ音

### 9-1. 音量の調整



音量 小



音量 大 ※デフォルト

### 9-2. 電源音



オフ



オン ※デフォルト

### 9-3.読取り音



オフ



オン ※デフォルト

### 9-4.読取り音の音調



音調 1 ※デフォルト



音調 2



音調 3

## 10. 文字編集

### 10-1. スタートキャラクタ

データの始まりを表す文字

本マニュアルにおいてデータ構成の定義：

スタートキャラクタ+Code ID+AIM ID+先頭キャラクタ+データ内容・・・(デフォルト)



スタートキャラクタなし ※デフォルト



STX

### 10-2. ストップキャラクタ (改行コード)

データの終わりを表す文字

本マニュアルにおいてデータ構成の定義：

・・・データ内容+末尾キャラクタ+Code ID+AIM ID+ストップキャラクタ (デフォルト)



ストップキャラクタなし



CR (Enter)



LF



CR+LF ※デフォルト



TAB



ETX

### 10-3.先頭キャラクターの付加

本マニュアルにおいてデータ構成の定義：

スタートキャラクター+Code ID+AIM ID+先頭キャラクター+データ内容・・・(デフォルト)



先頭キャラクターの付加を有効



先頭キャラクターの付加を無効  
※デフォルト



全ての先頭キャラクターの付加内容を削除





### 先頭キャラクターの付加内容を設定

設定手順：

- ① 「先頭キャラクターの付加内容を設定」をスキャン
- ② 設定するバーコードの種類（CODE ID 一覧表）の HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン。全種類の場合は 99 となります。
- ③ ASCII 一覧表で付加したいキャラクターの HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン
- ④ 「設定保存」をスキャンし、設定完了となる
- ⑤ 付加できるキャラクターの数は 10 個まで
- ⑥ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」をスキャン
- ⑦ 「先頭キャラクターの付加を有効」をスキャン

例：CODE39、データ内容：123456

データに先頭キャラクター X,Y,Z を付加したい場合：

「先頭キャラクターの付加内容を設定」→「6」「2」→「5」「8」「5」「9」「5」「A」  
→「設定保存」

上記の順にスキャンして下さい。

※CODE ID 一覧表、ASCII 一覧表、数値コード表は下記に添付しています。



設定保存



設定中止

## CODE ID 一覧表

コード種類	HEX 値 (16 進数)	CODE ID (デフォルト)
Codabar	61	a
Code128	6A	j
Code32	3C	<
Code93	69	i
Code39	62	b
Code11	48	H
EAN-13	64	d
EAN-8	64	d
GS1 DataBar	52	R
GS1-128 (EAN-128)	6A	j
2 of 5		
Interleaved 2 of 5	65	e
Matrix 2 of 5	76	v
Industry 2 of 5/IATA	44	D
UPC-A	63	c
UPC-E	63	c
ISBN	42	B
ISSN	6E	n
MSI	6D	m
Aztec Code	7A	z
DataMatrix	75	u
PDF417	72	r
Micro PDF417	53	S
QR Code	51	Q
Micro QR Code	51	Q
汉信码	68	h

※全種類の場合 HEX 値 (16 進数) は 99 となります。

# ASCII 一覽表

10 進數	16 進數		10 進數	16 進數		10 進數	16 進數	
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_			

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F

#### 10-4.末尾キャラクターの付加

本マニュアルにおいてデータ構成の定義：

・・・データ内容+末尾キャラクター+Code ID+AIM ID+ストップキャラクター (デフォルト)



末尾キャラクターの付加を有効



末尾キャラクターの付加を無効  
※デフォルト



全ての末尾キャラクターの付加内容を削除



末尾キャラクターの付加内容を設定

設定手順：

- ① 「末尾キャラクターの付加内容を設定」をスキャン
- ② 設定するバーコードの種類（CODE ID 一覧表）の HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン。全種類の場合は 99 となります。
- ③ ASCII 一覧表で付加したいキャラクターの HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン
- ④ 「設定保存」をスキャンし、設定完了となる
- ⑤ 付加できるキャラクターの数は 10 個まで
- ⑥ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」をスキャン
- ⑦ 「末尾キャラクターの付加を有効」をスキャン

例：CODE39、データ内容：123456

データに末尾キャラクター X,Y,Z を付加したい場合：

「末尾キャラクターの付加内容を設定」→「6」「2」→「5」「8」「5」「9」「5」「A」  
→「設定保存」

上記の順にスキャンして下さい。

※CODE ID 一覧表、ASCII 一覧表、数値コード表は下記に添付しています。



設定保存



設定中止



## CODE ID 一覧表

コード種類	HEX 値 (16 進数)	CODE ID (デフォルト)
Codabar	61	a
Code128	6A	j
Code32	3C	<
Code93	69	i
Code39	62	b
Code11	48	H
EAN-13	64	d
EAN-8	64	d
GS1 DataBar	52	R
GS1-128 (EAN-128)	6A	j
2 of 5		
Interleaved 2 of 5	65	e
Matrix 2 of 5	76	v
Industry 2 of 5/IATA	44	D
UPC-A	63	c
UPC-E	63	c
ISBN	42	B
ISSN	6E	n
MSI	6D	m
Aztec Code	7A	z
DataMatrix	75	u
PDF417	72	r
Micro PDF417	53	S
QR Code	51	Q
Micro QR Code	51	Q
汉信码	68	h

※全種類の場合 HEX 値 (16 進数) は 99 となります。

# ASCII 一覽表

10 進數	16 進數		10 進數	16 進數		10 進數	16 進數	
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_			

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D

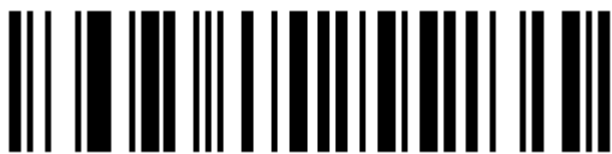


E

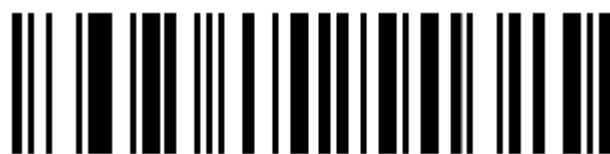


F

## 11.CODE ID



Code ID 表示をオフ ※デフォルト



Code ID をバーコードの先頭に表示



Code ID をバーコードの末尾に表示



カスタマイズした Code ID を削除



## Code ID をカスタマイズする

設定手順：

- ① 「Code ID をカスタマイズする」をスキャン
- ② CODE ID 一覧表にバーコード種類の ID のデフォルト HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン。
- ③ ASCII 一覧表で設定したい ID 内容の HEX 値（16 進数）を確認し、該当する数値コードをスキャン
- ④ 「設定保存」をスキャンし、設定完了となる
- ⑤ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」をスキャン
- ⑥ 「CodeID をバーコードの先頭に表示」もしくは「CodeID をバーコードの末尾に表示」をスキャン

例：CODE39、CodeID は b※デフォルト

CodeID を @ に設定したい場合：

「CodeID をカスタマイズする」→ 「6」 「2」 → 「4」 「0」 → 「設定保存」  
上記の順にスキャンして下さい。

※CODE ID 一覧表、ASCII 一覧表、数値コード表は下記に添付しています。



設定保存



設定中止

## CODE ID 一覧表

コード種類	HEX 値 (16 進数)	CODE ID (デフォルト)
Codabar	61	a
Code128	6A	j
Code32	3C	<
Code93	69	i
Code39	62	b
Code11	48	H
EAN-13	64	d
EAN-8	64	d
GS1 DataBar	52	R
GS1-128 (EAN-128)	6A	j
2 of 5		
Interleaved 2 of 5	65	e
Matrix 2 of 5	76	v
Industry 2 of 5/IATA	44	D
UPC-A	63	c
UPC-E	63	c
ISBN	42	B
ISSN	6E	n
MSI	6D	m
Aztec Code	7A	z
DataMatrix	75	u
PDF417	72	r
Micro PDF417	53	S
QR Code	51	Q
Micro QR Code	51	Q
汉信码	68	h

※全種類の場合 HEX 値 (16 進数) は 99 となります。



# ASCII 一覽表

10 進數	16 進數		10 進數	16 進數		10 進數	16 進數	
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_			

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F

## 12. AIM ID



AIM ID の表示をオフ ※デフォルト



AIM ID をバーコードの先頭に表示



AIM ID をバーコードの末尾に表示

## 13. データ構成の順番設定

### 13-1. 先頭キャラクター



スタートキャラクター+Code ID+AIM ID+先頭キャラクター+データ内容 ※デフォルト

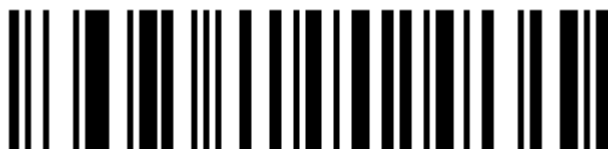


スタートキャラクター+先頭キャラクター+Code ID+AIM ID+データ内容

### 13-2. 末尾キャラクター



データ内容+末尾キャラクター+Code ID+AIM ID+ストップキャラクター ※デフォルト



データ内容+Code ID+AIM ID+末尾キャラクター+ストップキャラクター

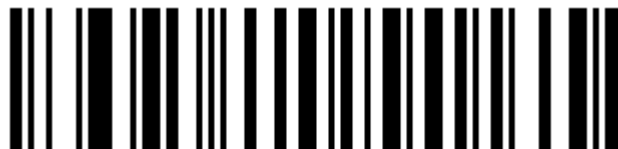
## 14. データの送信桁数を設定

本機能はデータ内容(桁数)を「Start/Center/End」三つの部分に定義する。設定することでデータの「Start/End」部分の長さ(桁数)を調整できる。

注意：先頭キャラクタ、末尾キャラクタ、スタートキャラクタ、ストップキャラクタ、CodeID、AIM ID はカウントされない。



元のデータ内容を送信 ※デフォルト



Start 部分のデータのみを送信



Center 部分のデータのみを送信



End 部分のデータのみを送信



Start 部分のデータの桁数を設定する



End 部分のデータの桁数を設定する

設定手順：

- ② 「Start 部分のデータの桁数を設定する」をスキャン
- ③ 設定したい桁数の数値コード（2桁）をスキャン
- ⑥ 「設定保存」をスキャンし、設定完了となる
- ⑦ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」をスキャン
- ⑧ 「Start 部分のデータのみ送信」をスキャン

例1：CODE39、データ内容：123456789

1234 だけを送信したい場合は：

「Start 部分のデータの桁数を設定する」→「0」「4」→「設定保存」→「Start 部分のデータのみを送信」の順にスキャンして下さい。

例2：CODE39、データ内容：123456789

56 だけを送信したい場合は：

「Start 部分のデータの桁数を設定する」→「0」「4」→「設定保存」→「End 部分のデータの桁数を設定する」→「0」「3」→「設定保存」→「Center 部分のデータのみを送信」の順にスキャンして下さい。



設定保存



設定中止



数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 15.色反転コード

1Dコード/DataMatrix/Aztecに機能する



通常コードの読取り可能 ※デフォルト



色反転コードのみ読取り可能



通常コードと色反転コード 読取り可能

## 16.破損コードの読取り補助

有効にする際は、通常コードの読取り結果にエラーが生じる可能性があります。



読取り補助 無効 ※デフォルト



読取り補助 有効

## 17.読取り可能なバーコード種類の設定



全てのバーコード種類を読取り可能 ※デフォルト



全てのバーコード種類を読取り不可



全ての 1D バーコードを読取り可能



全ての 1D バーコードを読取り不可



全ての 2D バーコードを読取り可能



全ての 2D バーコードを読取り不可

## 18. Codabar



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



スタート/ストップキャラクタ送信なし ※デフォルト



スタート/ストップキャラクタ送信あり



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順：

- ① 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- ② 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- ③ 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- ④ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- ⑤ 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1： 5 桁以上の Codabar のみ読取り可能に設定したい場合は：

「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2： 10 桁以下の Codabar のみ読取り可能に設定したい場合は：

「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止



数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 19. Code39



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



チェックディジット 検査なし ※デフォルト



チェックディジット 検査あり、送信なし



チェックディジット 検査あり、送信あり



Full ASCII ON



Full ASCII OFF ※デフォルト



スタート・ストップキャラクタ送信 あり



スタート・ストップキャラクタ送信 なし ※デフォルト



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順：

- ⑥ 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- ⑦ 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- ⑧ 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- ⑨ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- ⑩ 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1： 5 桁以上の Code39 のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2： 10 桁以下の Code39 のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止

数値コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

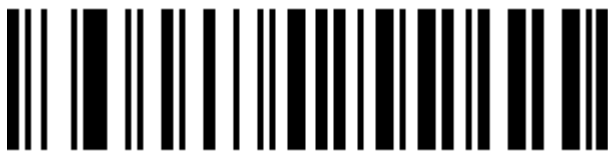
## 20. Code32



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



Code32 先頭文字「A」送信あり



Code32 先頭文字「A」送信なし ※デフォルト



21. Interleaved 2 of 5 (ITF25)



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



チェックディジット 検査なし ※デフォルト



チェックディジット 検査あり、送信なし



チェックディジット 検査あり、送信あり

## 21-1.ITF25 桁数の設定



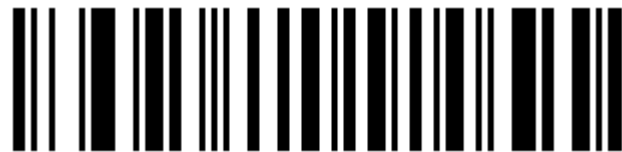
任意桁数 (6-50 桁) ※デフォルト



6 桁固定



8 桁固定



10 桁固定



12 桁固定



14 桁固定



16 桁固定



18 桁固定



20 桁固定



22 桁固定



24 桁固定



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順：

- ⑪ 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- ⑫ 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- ⑬ 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- ⑭ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- ⑮ 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1： 5 桁以上の ITF25 のみ読取り可能に設定したい場合は：

「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2： 10 桁以下の ITF25 のみ読取り可能に設定したい場合は：

「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8

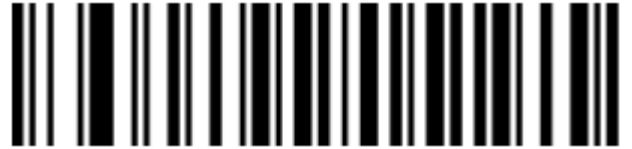


9

## 22.Industrial 2of5



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順：

- ⑯ 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- ⑰ 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- ⑱ 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- ⑲ 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- ⑳ 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1： 5 桁以上の Industrial 2of5 のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2： 10 桁以下の Industrial 2of5 のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止



数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

### 23.Matrix 2of5 (4-24 桁)



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順 :

- 21 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- 22 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- 23 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- 24 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- 25 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1 : 5 桁以上の Matrix 2of5 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2 : 10 桁以下の Matrix 2of5 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 24. Code93



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順 :

- 26 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- 27 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- 28 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- 29 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- 30 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1 : 5 桁以上の Code93 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2 : 10 桁以下の Code93 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止



数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8

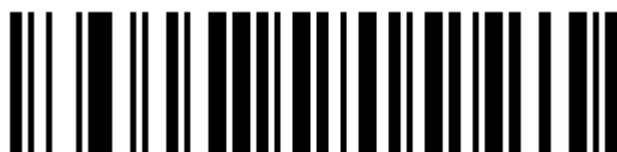


9

## 25.Code11



読取り有効



読取り無効 ※デフォルト



チェックディジット送信あり



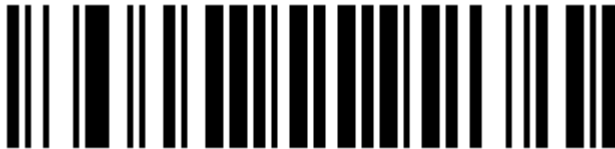
チェックディジット送信なし ※デフォルト



チェックディジット検査なし ※デフォルト



チェック 1 デジット 検査あり



チェック 2 デジット 検査あり



最小読取り桁数 (0~50 桁まで)



最大読取り桁数 (0~50 桁まで)

設定手順 :

- 31 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- 32 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- 33 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- 34 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- 35 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1 : 5 桁以上の Code11 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2 : 10 桁以下の Code11 のみ読取り可能に設定したい場合は :  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 26.128 コード

### 26-1.Code128 の読取り

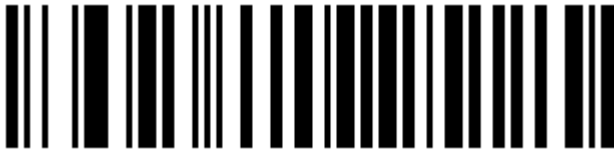


Code128 読取り有効 ※デフォルト



Code128 読取り無効

### 26-2.GS1-128 の読取り



GS1-128 読取り有効 ※デフォルト



GS1-128 読取り無効



### 26-3. ISBT の読取り



ISBT 読取り有効 ※デフォルト



ISBT 読取り無効

## 26-4.128 コード桁数の設定



最小読取り桁数 (0～50 桁まで)



最大読取り桁数 (0～50 桁まで)

設定手順：

- 36 「最小読取り桁数」 or 「最大読取り桁数」 をスキャン
- 37 設定したい桁数の数値コードをスキャン
- 38 「設定保存」 をスキャンし、設定完了となる
- 39 設定途中で中止したい場合は「設定中止」 をスキャン
- 40 設定できる桁数の上限は 50 桁まで

例 1： 5 桁以上の 128Code のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最小読取り桁数」 → 「5」 → 「設定保存」

例 2： 10 桁以下の 128Code のみ読取り可能に設定したい場合は：  
「最大読取り桁数」 → 「1」「0」 → 「設定保存」



設定保存



設定中止

数值コード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 27.UPC-A



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

### 27-1.UPC-A チェックディジット



チェックディジット送信あり ※デフォルト



チェックディジット送信なし

## 27-2.UPC-A 変換



UPC-A から JAN-13 に変換



変換なし ※デフォルト



0 を切り捨て

## 28.UPC-E



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

### 28-1.UPC-E チェックディジット



チェックディジット送信あり ※デフォルト



チェックディジット送信なし

## 28-2.UPC-E→UPC-A 変換



UPC-A に変換あり ※デフォルト



UPC-A に変換なし

## 28-3.UPC-E の先頭キャラクタ設定



国コード+システム文字送信あり



システム文字送信あり ※デフォルト



0 を切り捨て



29.EAN/JAN8



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

29-1.EAN-8→EAN-13 変換



変換なし ※デフォルト



変換あり

## 29-2.EAN-8 のチェックディジット



チェックディジット送信あり ※デフォルト



チェックディジット送信なし

30.EAN/JAN13



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

30-1.EAN/JAN13 のチェックディジット



チェックディジット送信あり ※デフォルト



チェックディジット送信なし

## 30-2.UPC/EAN/JAN 補助桁（アドオンコード）



補助桁を無視する ※デフォルト



補助桁を判断し出力する（補助桁が無い場合は読取り不可）



補助桁を自動判断して出力する（補助桁が無い場合は読取り可能）

30-3.EAN13→ISBN 変換



変換あり



変換あり ※デフォルト

30-4.EAN13→ISSN 変換



変換あり



変換なし ※デフォルト

31.GS1 Databar (RSS14)

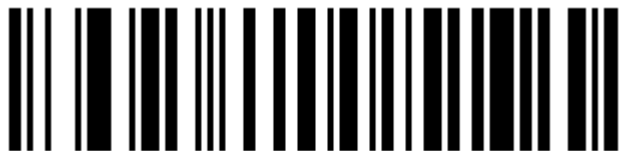


読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

31-1.GS1 Databar Limited



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

## 31-2.GS1 Databar Expanded



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

32.PDF417



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

33.Micro PDF417



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効



34.QR Code



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

35.QR Code URL Link



読取り無効



読取り有効 ※デフォルト

### 36. Micro QR Code



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

### 37. Data Matrix



読取り有効 ※デフォルト

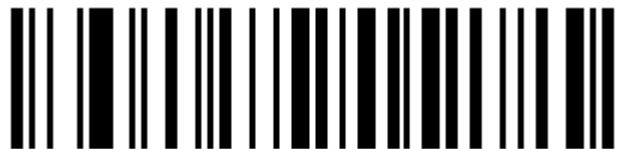


読取り無効

### 38. Aztec Code



読取り有効 ※デフォルト



読取り無効

### 39. 汉信码



読取り無効



読取り有効 ※デフォルト